



ご挨拶

第28回日本産婦人科・新生児血液学会
学術集会会長 鮫島 浩

新緑の青葉が繁れる季節を迎え、会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、第28回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会を6月15日(金)、16日(土)の2日間の日程で宮崎市の「シーガイアコンベンションセンター」で開催いたします。前回、池ノ上教授の2003年学術集会以来15年ぶりの宮崎での開催となります。

今回の学術集会ではテーマを「DICを考える」としました。産科DICスコアが考案され利用開始からすでに30年以上が経過しました。そこで産科および最近改定された新生児DICスコアを中心に臨床での応用、利用状況、また最近のDIC治療についてワークショップを企画し検討いたします。

教育講演では産科から「羊水塞栓症の病態と管理」、小児科から「新生児期にみられる一過性骨髄異常増殖症の病因・病態・診断・管理」、さらに産科病理から「胎盤病理と血液凝固」と幅広い分野からの講演を行います。一般演題には39題もの応募をいただき感謝申し上げます。

本学会からの初企画としまして一般演題のうち優秀演題賞候補演題6題を選出し、学会1日目に発表、討論を行います。会員の皆様の自由で活発な討論をしていただき理解と親交を深めていただければ幸いです。

初夏の宮崎において医局員総出でアットホームな学会を目指し鋭意準備しております。クールビズ、ノーネクタイでの多くの会員の皆様のご参加、心よりお待ちしております。